

ジュナム (Junam) 貯水池のモニタリングを通じた湿地生態保全活動

- 1 自治体名：韓国慶尚南道
- 2 発表者名：姜 採沅 (KANG CHAE WON) (昌原 大山 (Changwon Daesan) 高等学校 1 年生)
- 3 活動期間：2013 年 ～ 現在
- 4 活動場所：慶尚南道 昌原市 (Changwon) 東邑 (Donggeup) ジュナム貯水池
- 5 活動参加人数：‘ハンメ (hanmoe) エコレンジャー’ サークル会員 12 人 (2018 年現在)

6 活動をはじめた経緯：

- 学校のカリキュラムの中で、意味のあるボランティア活動をするために資料を調査している中、本校に非常に近いジュナム貯水池は、2008 年にラムサール総会開催時に多くの外国人が訪れ、今でも多くの人々が沢山の冬の渡り鳥を見るために訪問していることが分かった。毎年、世界的に絶滅危惧種であるマナヅルが飛来し冬を過ごしているが、開発と保全という二つの価値が対立しながら生態保全が脅かされていることを確認した。ジュナム貯水池の様々な生態環境を継続的にモニタリングし、その生態保全に役立つための活動を開始した。

7 発表要旨：

- a. 活動動機及びサークルの紹介：昌原大山高校にて毎月 1 回、ジュナム貯水池の様々な生態環境及び人文環境をモニタリングし、資料を収集、分析するボランティア活動サークル
- b. ジュナム貯水池の生態環境現況紹介：ジュナム貯水池の一般現況を紹介
- c. 2013 年から現在までの活動過程及びその内容が含まれる活動写真並びにモニタリングの結果紹介
 - ジュナム貯水池一帯の水生植物、底棲性水棲動物 (底生生物)、ツバメ、冬の渡り鳥の現状、水質などを観察調査分析した。探訪客と地域住民を対象にした認識調査を行い、以前年度との変化を比較分析し、年末に該当分野の専門家指導者を招待したモニタリング結果の発表及びアドバイスを聞くモニタリング結果発表会を開催した。

d. 2018 年下半期の活動計画

9月	地域住民に認識モニタリング	ジュナム貯水池周辺の地域居住住民を対象に、ジュナム貯水池に対する認識についての聞き取り調査を実施する
10月	探訪客の認識モニタリング	探訪客を対象に、ジュナム貯水池の認識についての聞き取り調査を実施する
11月	資料整理及び以前年度の資料との比較分析	年間モニタリング結果の資料を前年度資料と比較分析して資料を整理する
12月	モニタリングの結果発表会	専門家指導者を招待した発表会を開催するとともに校内サークル発表会へ参加する